

第5章 資料編

I 地域福祉ニーズ調査の結果

調査の概要

第2次胎内市地域福祉活動計画策定にあたり、事務局の胎内市社会福祉協議会が地域福祉アンケート調査と団体への意見募集調査を行いました。結果の概要は以下のとおりです。

(1) 一般アンケート調査

基本情報

男 性	75
女 性	161
総 計	236

問1 地域福祉活動への参加状況

地域でのサロンやお茶会	93
自治会の行事やイベント	65
ボランティア活動	63
趣味のサークル	47
高齢者大学や老人クラブ	46
サロンの担い手	12
子育てサロンやサークル	4
特に参加していない	58
その他	14
総 数	402

問2 参加していない理由について

参加したいと思わない	13
自分に合うものがない	9
どんな行事活動かわからない	8
一緒に行く人がいない	3
参加の方法がわからない	1
その他	27
総 数	61

問3 活動がもっと地域で活発になるために、必要だと思うことは？

活動していない人への きっかけづくりの場づくり	96
福祉のお知らせや方法	50
講習会やてびき	47
社協やボラセンの周知	39
ボランティア基礎講座	20
わからない	74
その他	4
総 数	330

問4 家事で大変だなと思うことはなんですか？

植木の剪定や草むしり	71
食事の支度	66
掃除	49
買い物	45
洗濯	24
ゴミ出し	23
特になし	96
その他	4
総 数	378

問5 普段の主な食事はどうしていますか？

自炊	137
家族が作る	117
惣菜など出来あいの物	30
配食サービス	10
ヘルパーが作る	5
外食が多い	3
その他	3
総 数	305

問6 家事や食事に関して、ほしいサービスはありますか？

家事援助サービス	27
料理教室	23
手づくり弁当の配達	20
お食事会	21
ゴミ出しなど	17
特になし	163
総 数	271

問7 収入や生計についての困りごとにはありますか？

特に困っていない	205
困っている	31
総数	236

問8 収入や生計について困っている内容はなんですか

生活費・食費	15
住宅費（ローンなど）	12
教育費	8
余暇や趣味に使う費用	8
その他	4
総数	47

問9 その他、生活全般で困っていることについてありますか？

家族の介護について	36
孤独感や心細さ	28
訪問販売やセールス対応	24
家族のことについて	22
財産や相続のこと	16
郵便物の管理や公共的な手続き	15
大事な書類の保管	11
日常のお金の管理	10
保育や育児について	6
子どものひきこもり	1
特になし	122
その他	7
総数	298

問10 あなたが地域でできることはなんですか？

高齢者や障がい者の見守りや声かけ	79
ゴミ出しの手伝い	53
サロン等の担い手	32
趣味や特技を活かした教室	31
買い物の手伝い	31
外出の付き添い	23
家事の手伝い	14
特になし	18
その他	12
総数	293

問11 困りごとや地域の課題に対し、
充実してほしいことは？

困った時に福祉機関につながる 連絡のしやすさ	83
地域の中での見守りのしやすさ	68
気軽なサロン	53
福祉サービスや地域活動の お知らせ	42
福祉の総合相談窓口	41
身近な相談相手	35
お話し相手	29
バスハイクなどの行事	27
同じ悩みを語り合う場	25
外出や通院の付き添い	23
介護者のつどい	20
サロンなどの支援の仕組み	20
成年後見制度の利用支援	16
お食事会	15
大事な書類の保管サービス	4
お金の管理の支援 (通帳預かり、生活費届け)	4
郵便整理や手続き	7
特になし	55
その他	2
総 数	569

・胎内市の中に足りないと思う福祉の取り組みやサービス、町内での取り組みについて自由に記述していただきました。（※この記述については、記述者の言葉のまま掲載をしています。）

①地域福祉に関すること

- ・各地区にサロンができて誰でも気軽によれる場所。特に男性が多く集まることができる茶の間。保健委員だけではなく、区長が先になって作れたらと思う。
- ・近所に一人住まいの病気もちの人が居ます。（酸素ボンベ利用）地区の民生委員さんが定期的に訪問しているようですが、依頼されたわけではありませんが、隣のよしみで世話をしているつもりです。電気がいつまでもつかなくなったり、飼い猫がさわいだりするととても心配です。もし呼んでも返事がなかったらどうしようと近頃考えます。福祉機関につながる連絡の仕組みがあると良いと痛切に感じます。
- ・地域の結びつき（強くなると入りづらいが何もないとさっぱり付き合いが極端に少なくなる。）
- ・変化の途上にある「地域」の中で高齢者障害者がどのように安心して暮らすことができるのか。そのための見守り等のサービスであると思う。福祉への取り組みであると共に地域への取り組みである。自分は仕事に追われ協力できず心苦しい点多々あるが、今後もよろしく願っています。
- ・住んでいる地域の中であいさつ、声かけをして顔見知りも多く作っていけるよう心がけています。
- ・お茶の間サロンを週1回くらいにしてほしい。一人ぼっちで話相手がなく認知症が心配。
- ・サロンでは拘束された楽しみ会でなく、各自自由な楽しみ方ができるようなサロンがあればと考えます。（時間は1日中、内容自由。例えば子守をしながらお茶のみ）
- ・特に困っていることはありませんが、お知らせ・案内などわかりやすく知ることができればありがたいです。
- ・孤独感や心細さがなくなるような地域での取り組みがあるといいと思います。特に高齢者の世帯、一人暮らし世帯等に思います。
- ・一人暮らしで急な病気になり電話等で連絡できない場合等のとき、外に急病を知らせて助けを求める方法の手段の機器の設置。
- ・地域コミュニティの充実
- ・一人暮らしの人が安心して生活できる支援体制づくりの構築と気軽に集まれるサロンの充実です。
- ・町内での取り組みについては、様々なものがあり、また計画されたりしているが、地域によってそこに参加したいという人たちに意識に差があると思う。私の住んでいる地域にも高齢者向けの取り組みが色々計画され実施されるが、参加する人が少なく、いつも途中で消えている。他の地域では長続きしていることを知っているのも、地域なのか・・・内容の問題なのか・・・
- ・集落の中に何人か一人暮らし老人（高齢者）を週に2～3回声をかけ、話を聞く人を任命したらどうか。出来るだけ近い人が必要。その声を市の福祉課等で生かす方法はないか。

- ・今は車の運転も可能だが、出来なくなったときのことを考えると福祉の手助けを借りることになると思う。近所にも高齢の一人暮らしの方はいらっしゃるが、どこまで手伝い手助けしたらよいか・あまり深く入り込むことも考えてしまうので、今は声かけ程度としているが本当は困っていると思う。（買物や医院などはすべてタクシーのようだ）
- ・低年齢からのボランティア教育
- ・買い物弱者の支援
- ・地域の行事には一人で行かれない。誰か連れていってくれば行ってみたい。
- ・民間のバス路線が廃止など公共の足が減って、自分で運転できないと外出も大変なので移動手段や回数をもっと気軽に利用できたら良いと思う。
- ・車椅子が乗れる町内、サークルで借りられるマイクロバスが欲しい。乗り降りが大変な方々のために考えてください。
- ・村で楽しい講演会などがあるといいな。
- ・イベントたくさんあって大変よい。
- ・地域のつながりが特に旧中条地区は少ないと思う。子どもが安心して外で遊び、また気軽にあいさつできる人が中心的に一人いるといいのになあ。民生委員が誰かわからない。近所で毎日大きな怒り声が聞こえるが、誰に相談していいかわからない。
- ・ボランティア活動や担い手になって活動している人をみると、同じ方がいくつもの場で活動しているようですそ野の広がりが無いように思います。何もやっていない人、関心のない方に関心をもってもらうためにはどうしたらいいのでしょうか。
- ・気軽に集まれる場所及び緑地公園が足りない。高齢になっても勉強できる場所や堅苦しくない教室など。
- ・同じ顔ぶれの方がお世話し、せまい人間関係の中だけの活動が多いように思う。もっと経験のない人も参加できるようにした方がいいと思う。
- ・胎内市では充分足りていると思う。
- ・胎内市は福祉が充実していると思う。
- ・1、地域のためになる行事、2、結婚式や成人式などに協力できるお金（積立金）をあげることに。
- ・自分はこれまで丈夫で元気であったので市全体の福祉の取り組みにはほとんど無関心で良くわからない。これからは自分自身のことも含め勉強していきたい。
- ・冬場の玄関先の除雪、除雪車の通った後の仕上げ等のご近所の方々のご好意に助かっています。市よりの補助金も有難く使わせていただきました。
- ・最近サービスが少ない。為になることもあるけど、後悔ミスをしないこと。
- ・集約的でなく、福祉の原点に戻り徹底した現場活動主義に戻ってはどうか。
- ・近くで運動したい。
- ・いろんな活動が充実しており大変良いことと思います。
- ・サロン化を無理ムリ主張する方がいるが、もともとの諸集会があるので敢えての設置は不要と思う。

- ・今現在は介護保険のサービスと地域の方（区長・民生委員）の訪問があり助かっている。病気に対しての不安はありますが、今の状態でよいと思っております。
- ・良くしてもらっているので十分だと思います。これからも宜しくお願いします。
- ・県から地域支え合い体制づくりの補助金をいただき、拠点作りに成功し、4月以降月1回のふれあいサロンを立ち上げました。社協の人にはチラシづくりや講師をしていただき感謝しています。おかげさまで参加者も増えています。もっともっと輪をつなぎ広めて町内の皆に参加してもらえるように、これまで以上に積極的に声かけをしていきたいと考えています。これから宜しくお願い致します。
- ・これからはもっとたくさんの（65歳以上）人達が増えてくる。お互いに手伝えることができれば。まだまだ身体は元気なのですから、まだ働いているのでボランティアはもう少し後になりそうです。

②障がい者・児に関すること

- ・児童のショートステイやケアホームを立ち上げてほしい。重度の子どもの将来が心配です。新潟までの通院が大変なので実費がかかってもいいので運転できる方をお願いしたい。
- ・障がい者のショートステイやグループホームを増やしてほしい。
- ・障がい者への援助がほしい。①放課後教室の設置、長期休業中の託児の手助け。②グループホーム 就労準備施設 設置などへのアドバイス等 広報・・・ボランティアに関してなかなか皆さんに考え方や活動が広がらない。もっと多くの方が地道なボランティアの取り組みについて知ってもらえるにはどうすればいいか。広報紙やネットだけでは広報したことにならない。
- ・世の中の皆さんに老人福祉ばかりでなく、障がい者に対しても正しい理解をしてもらいたいです。わが子は現在小学生ですが、毎年特別支援学級の子どもが卒業し、行き場のない子もあると聞きます。学校は卒業すればそれまでですが施設利用（入所通所）は定年もなく近い将来利用できない子どもがふえるのが分かっているのに、その準備がないと思います。また重度の子どもが利用できる施設もないと思います。施設の数・種類が不足していることを市にも切実に感じてほしいです。障がいのある子どもは自立できず、親はいつまでたっても育児に卒業はないです。いずれはホームなどの入所型を利用することになると思っています。
- ・数年後、学校を卒業して働く場があるのか。どこも定員オーバーと耳にします。働く場が増えるといいな。日中一時支援もいっぱい預けられない時もあるので、緊急時に預けられるようになってほしい。

③介護保険サービスや介護に関すること

- ・胎内市の福祉施設でどういうことをやっているかわからない人が多いのではないかと思う。
- ・現状のところサービスや町内の取り組みに問題はない。今後はどうなるか？
- ・高齢者にもっと手をかけてほしい。ディサービスやショートステイが1割なのだが高い。90歳以上だったらもっと安くしてほしい。

- ・要介護というほどではないが、食事の準備が大変になっている年寄りが同居しており、仕事や行事が忙しくてなかなか食事を作ってやれないので、そのあたりについてなんとかなればと思っている。
- ・福祉やサービスが等しく受けられるようにしてほしい。不当に母子や福祉等の手当を受けている人がいるとのうわさを聞くことがあるので、調査を厳密にしてもらい真に必要な人、資格のある人に届けてほしい。
- ・ディサービスもう少し使えたらいい。安全に入浴できる施設がほしい。
- ・入所施設が不足して待ちの状態を解消してほしい。

④行政に関すること

- ・休日や土曜日等の外出の支援を充実してほしい。デマンドが利用できないので。
- ・ファミサポ、デマンドは便利でいい。福祉の講演会・講習会は多い方だと思います。（税金の無駄使いが心配。市と社協がダブらないように）
- ・デマンドタクシーの帰りの時長く立って待っていることができません。椅子が必要などころがあるとよい。中まで声をかけていただければ大変助かります。
- ・通院等自動車がないため大変不便。のれんす号ありますが行きはよいが帰りが不便。新発田方面の病院に行くにはタクシーしか使用できないので大変。
- ・一人暮らし高齢者世帯などの屋根の雪下ろしや雪かきなど豪雪時の対応・サービスの充実。
- ・紙おむつ支給品、使いやすい品を選んで頼みたい。他の市町村では商品券と聞いた。
- ・中条産の物産物（野菜・黒豚肉）等販売する場所「道の駅」のようなものの設置。産業会館空き地で中条農協はこれから冬場は年寄りには遠く困難。コミュニティーセンターの設置。現在の公民館を増改築し小ホーム（6～8人くらい）集まる部屋を複数ほしいです。
- ・道路が狭く歩道の整備も遅れていて、歩いての外出は危険がともないます。
- ・街中の歩道が足りない。（特に狭い道）障害者や高齢者が安心して外出できない。
- ・行政による施策が行われているとは思いますが、低資産の方は十分な介護福祉を受けられないのが実態ではないかと思えます。住民皆様の心の充実が図られるような取り組みが行われれば良いと思えます。また、若い世代の方々は地域的活動への興味が非常に薄いものと思われまますので、若年層の関心さを高めることが今後の地域の発展には不可欠であると感じております。
- ・大きな病院がほしい。
- ・免許返納の際、年齢で区切られたこと。
- ・私は年金生活者ですが、2カ月ないし3ヶ月分にかかる医療費が大変で3万円くらいかかります。市民生活課に相談に行っても年金をもらっている範囲で生活してくださいといわれ困っています。
- ・市街地に行かなくとも、乙にも小さなスーパーのようなお店があれば良いと思えます。

(2) 小・中学生アンケート調査

基本情報

男子(小学生7、中学生6)	13
女子(小学生22、中学生13)	35
総数	48

問1 近所の大人は、あいさつや声かけをしてくれますか？

ときどきしてくれる	24
会ったら必ずしてくれる	21
ほとんどしてくれない	2
まったく声をかけてくれない	1
総数	48

問3 あなたが近所でできることはなんですか？

お年寄りや体が不自由な人への「あいさつ」	47
回覧物のお届け	28
買い物手伝い	11
雪かき	8
掃除などの手伝い	6
お年寄りや体が不自由な人への「ゴミ出し」	3
草取り	3
総数	106

問2 あなたのお手伝いの状況を教えてください。

食事	22
買い物	18
掃除	18
洗濯	18
雪かき	16
ゴミ出し	10
草とり	6
特にない	6
その他	2
総数	116

問4 「福祉」という言葉から思い浮かぶものはなんですか？

助けあい	28
ボランティア	25
やさしさ	23
介護	22
安心	16
お年寄り	16
障がい者	9
総数	139

(3) 各種団体への意見募集調査

実施日	実施団体	人数	いただいたご意見
10/11 (木)	こばと作業所職員	8	<ul style="list-style-type: none"> ・担当民生委員がわからない。 ・近所に問題の世帯があるが、誰に相談してよいかわからない。 ・団体と団体をつなぐ役目を社協がしてほしい。
10/11 (木)	船戸元気会	15	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度に関わったことがあるが、手続きが大変だったので簡素化してほしい。 ・地域での情報が少ない。(デマンドの利用方法や巡回バスなど) ・困りごと相談があったらいい。 ・地域で様々な情報がまとめて入る場所があったらいい。
10/16 (火)	柴橋此の木会	16	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい団地だと若手しかおらず、日中は仕事にいているため、なかなか近所で話をすることもない。
10/23 (火)	中条社協サロン	18	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの帰りの対応を考えてほしい。医者の終わり時間がわからないので迎えの予約ができない。終わってからお願いしても、約1時間は待たなければならない。 ・ホリデーバスがどのように走っているのかわからない。 ・地震などいざという時に、たぶんバタバタして何もできないと思う。そんな時の町内の仕組みを知りたい。 ・介護保険制度がどんな制度なのかかわからないので不安だ。その時になったらではなく、事前にある程度の情報を入れておきたい。町内でそのような説明会などがあると便利だ。
10/26 (金)	半山サロン	12	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間の若手がいなくて、訪問販売の人がくるがしつこくて困る。町内で役員さんなどがパトロールでもしてもらって顔出ししてくれたら助かる。 ・羽越水害を体験していて、その時はみんなで助けあってやってきた。近所付き合いが大切だということを感じているので、今でも意識して近所付き合いは大切にしている。
10/27 (土)	桃崎浜区役員	9	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしで何かあった時に、すぐ助けにくる装置がほしい。 ・行政や社協にどんなサービスがあるかわからない。定期的に周知していくことを考えてほしい。

Ⅱ 胎内市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、胎内市地域福祉活動計画（以下「計画」という。）の推進を目的に設置する胎内市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会（以下「推進委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 推進委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の推進管理と評価に関すること。
- (2) 計画の策定に関すること。
- (3) 計画実施の支援に関すること。
- (4) その他計画推進に必要と認められる事項に関すること。

(組織)

第3条 推進委員会は、委員25名以内で組織する。

2 推進委員会の委員は、福祉団体及び福祉関係者並びに学識経験者等の内から、胎内市社会福祉協議会長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、原則2年とする。ただし、委員が任期の途中で交代した場合、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 推進委員会には委員長1名及び副委員長1名を置き、委員長は委員の互選によって定める。また、副委員長は委員長の指名によって定める。

2 委員長は、推進委員会を代表し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

2 推進委員会は、委員の半数以上の出席により成立する。

3 推進委員会は、必要があると認められる時は、会議の議事に関係ある者の出席を求め、意見または説明を徴することができる。

(部会)

第7条 推進委員会は、具体的な計画の推進や課題の検討などを行うため、部会を設置することができる。

(守秘義務)

第8条 推進委員会は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(事務局)

第9条 推進委員会の事務局は、胎内市社会福祉協議会事務局内とする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会に関し必要な事項は、委員長が推進委員に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成24年6月1日から施行する。

Ⅲ 胎内市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会 名簿

区分	氏名	策定時の所属・役職等	備考
アドバイザー (学識経験者)	坪井 真	学校法人日本放送協会学園（NHK学園） 社会福祉士養成課程 主幹専任教員	
委員長	平野 庄一	社会福祉協議会 地域福祉部会委員	
副委員長	伊藤 貞夫	社会福祉協議会 地域福祉部会委員	
委員	石山 節子	胎内市中条婦人会 会長	
委員	伊藤 紀子	胎内市民生児童委員協議会連合会	
委員	小野 金吾	胎内市老人クラブ連合会 会長	
委員	北片 英明	胎内市民生児童委員協議会連合会	
委員	桐生 吉右衛門	地域住民 前策定委員	
委員	古泉 陽子	地域住民 水芭蕉ボランティア会	
委員	佐藤 寧治	胎内市身体障害者福祉協会 会長	
委員	須貝 春夫	こばと作業所 施設長	
委員	忠 邦夫	胎内市ボランティアセンター運営委員会 委員長	
委員	新野 直紀	ちゅーりっぷ苑 副苑長	
委員	西村 ヨシイ	自主運営サロン団体 築地福祉会	
委員	井畑 明彦	胎内市健康福祉課長	
委員	小野 孝平	胎内市学校教育課長	
委員	小俣 隆三郎	社会福祉協議会 地域福祉部会委員	
委員	南波 英生	社会福祉協議会 地域福祉部会委員	
委員	安澤 泰邦	社会福祉協議会 地域福祉部会委員	

Ⅳ 第2次地域福祉活動計画の策定経過

開催日	会議名	内容
7/13（金）	第1回 推進委員会	○委員長・副委員長の選出について ○第2次地域福祉活動計画の策定について ○作業部会の設置について
7/27（金）	第2回 推進委員会	○坪井アドバイザーによる研修 「地域福祉活動計画の概要と必要性について」
8/21（火）	第1回 第2作業部会	○第1次活動計画の評価
8/22（水）	第1回 第3作業部会	○第1次活動計画の評価
8/23（木）	第1回 第4作業部会	○第1次活動計画の評価
8/24（金）	第1回 第1作業部会	○第1次活動計画の評価
9/28（金）	第3回 推進委員会	○作業部会の評価について ○活動計画と発展強化計画の振り分け検討について ○各団体での意見募集について
11/19（月）	第2回 第2作業部会	○アンケート結果について ○第2次計画の目標設定等の検討について
11/20（火）	第2回 第1作業部会	○アンケート結果について ○第2次計画の目標設定等の検討について
11/20（火）	第2回 第3作業部会	○アンケート結果について ○第2次計画の目標設定等の検討について
12/21（金）	第4回 推進委員会	○計画素案の検討・協議
1/7（月） ～18（金）	計画素案意見募集	○市民への計画素案の意見募集
2/15（金）	第5回 推進委員会	○計画素案の最終確認について ○計画素案の承認について ○計画の周知方法について ○計画の進捗管理について